

## 2019年度 定時評議員会 議事録

日 時	2019年5月18日(土)15時05分～16時05分
場 所	北海道立総合体育センター 中研修室
評議員出席者	小川政憲、山内孝夫、中川裕行、宮原 勉 山口隆義、辻井淳一
理事会出席者	生島典明、紺屋正雄、渋谷研一、大江憲一 黒田謙二、印藤智一、田中昌幸、沓沢幸一 丸山道博、浅野泰弘、櫻庭功一、家近昭彦
監事出席者	川村俊明、高坂 猛

※開催に先立ち、ヴォレアス北海道の加藤伊織氏、サフィールヴァ北海道の辻井淳一氏から今年度の報告と今シーズンの豊抱負と挨拶がある。

### 1. 開 会（田中総務委員長）

・定時評議員会の成立について～定数9名中6名の出席があり評議員会は成立することを報告し、進行を山口議長に引き継いだ。

### 2. 会長あいさつ

本日はお忙しい中、定時評議員会に出席、また日頃よりバレーボールの普及・発展のご尽力に厚く御礼申し上げます。平成30年度は世界選手権女子大会をはじめ多くの事業が無事終了した。今年度はワールドカップが開催される。またヴォレアス北海道がV2に、サフィールヴァ北海道がV3に参戦することになり、みなさまのご協力を持ってさらなる活躍を期待している。

今年度は6月に札幌と江別で開催の東日本インカレ、8月に旭川で6人制男子クラブカップ、9月にワールドカップ女子大会の開催が決まっており、多くの関係者にお世話になる。これら大会を成功に導くことで北海道のバレーボールを更に元気なものにすることは勿論のこと、ジュニア層の発掘や応援団の拡大にも繋がるものと確信しており、関係者全員で取り組んで参るのでご協力をよろしく願います。

本日の評議員会は、先ほどの理事会で確認された平成30年度の事業報告及び決算報告と2019、2020年度の役員選任の件について審議いただき承認を賜りますようお願いする。

### 3. 議事録署名人に選出

・山口議長のほか、小川評議員（東空知協会）、中川評議員（稚内協会）の以上3名を決定する。

### 4. 協議事項

#### （1）平成30年度事業報告及び決算書類等承認の件

##### ①事業報告書類

・評議員会資料に基づき、理事長が協会運営の基本方針に沿った各委員会の取り組みについて、各委員会が事業報告について報告した。

- ・理事長 強化委員会で時間と労力をかけて進めている強化活動と指導普及委員会と一体的な取り組みの結果、国体少年女子で競技得点を獲得したが、昨年度も倫理案件が後を絶たず、地区連盟、各委員会も含め撲滅に向けて取り組んでいく。
- ・総務委員会 事業報告は各種会議、健全な財政運営、新 MRS 登録、大会参加一覧、登録一覧は記載の通り。
- ・競技委員会 6・9 総合大会は大会の工夫で参加数が増えた。事業報告は記載のとおり。
- ・審判委員会 事業報告は A 級候補の藤井、川島両氏は 3/1 付けで A 級審判員となる。
- ・指導普及委員会 事業報告は記載のとおり。
- ・強化委員会 事業報告は記載のとおり。北海道体育協会競技力向上事業の報告がある。

## ②一般会計決算報告書

- ・全体の収入増減は 1,088,468 円の増となっており、特に繰越金、登録料、新 MRS 配賦金が増額となっている。減額では雑収入と賦課金の減額が多くなっており、収入合計は 18,618,468 円となる。支出はほぼ予算通りの執行となっており、総務委員会費の印刷製本費の削減、会議費の減額で、支出合計は 16,902,844 円となり、収入から支出を引いた残金 1,715,624 円は 2019 年度に繰り越しとなる。
- ・特別会計決算の報告があり、財政調整基金は増減なし、特別事業等基金は世界選手権大会の貸付金が戻り、そのままワールドカップ運営費に貸し付けた。強化・育成基金は収入が繰越金、利息、総合大会参加料で 5,570,362 円、支出合計は各事業合計で 2,515,269 円となり、次年度に 3,055,093 円を繰越金となる。
- ・2018 女子バレーボール世界選手権札幌大会決算書の報告があり、収入合計 17,026,910 円から支出合計 15,860,987 円を差し引いた残額 1,165,923 円は 2019 年度強化・育成基金に繰り入れる。

## ③監査報告

- ・川村監事より一般会計、特別会計、各委員会会計ともに正確かつ適正に処理されていることの監査報告がある。

◎平成 30 年度事業報告及び決算書類等承認の件については、承認することが決議される。

## (2) 役員選考の件

○5 月 2 日に行われた役員等選考委員会結果に基づき、評議員会に提出する。選考委員会には紺屋副会長が議長となり、評議員・理事選考ガイドラインに沿って選考した。基本的な考え方として、評議員・理事数は原則として 1:2 とする。評議員を複数年務めた方には理事も経験してもらう。会長指名理事となった者は地区の選考から除く。その結果、評議員 9 名を選定し、理事候補者 25 名、監事 2 名を選考し評議員会へ提案することを決定した。なお、のこり 3 名の常任理事はこの後の臨時理事会で互選される。

～承認

## (3) その他

○今年度より学連登録の北海道協会分は地区の登録料とは別に MRS から請求されている。

## 5. 報告事項

### (1) 2019年度事業計画及び予算

- ・平成30年度第4回理事会（3月16日開催）議案に基づき理事長及び各委員長が説明する。
- ・総務委員会 財政検討会議では現在北海道協会の賦課金、助成金の見直しについて11月までに審議検討し12月の理事会で報告を予定している。
- ・競技委員会 2020年ヴィンテージ大会を10/30～11/1に函館で開催を予定している。2021年9人制社会人東ブロックは帯広協会に要請中。
- ・審判委員会 ワールドカップ大会に向け道内で6、8月2回の研修会を実施する。
- ・指導普及委員会 今年度は2年に一度の強化交歓大会を実施する。男子6/15、16、女子6/22、23
- ・強化委員会 中学生はJOCを中心に、高校生・成年は国体を目指した強化に取り組みを実施する。
- ・総務委員長より2019年度一般会計予算、特別会計予算の報告と説明がある。

#### <質疑・意見等>

○稚内中川評議員 指導者養成講習会関係の北海道公認コーチ認定講習会を各地区協会及び加盟団体に実施となっているが、参加数が少なく地区で実施できない場合は北海道全体で実施しているのか。

⇒ホームページ等で開催を周知する。

○体罰・暴力・暴言の取り組みについて記載のない委員会があるが、すべての委員会で取り組むことで良いのか。

⇒すべての委員会で取り組む。

## 6. その他

○2019 ワールドカップ女子札幌大会について、4月に対戦相手も決まらない中、先行予約販売をしたが各地区協会、各加盟団体からたくさんの申込みがある。

○4/23にJVA臨時理事会があり、5月1日付でVリーグ機構がJVAの加盟団体となり、加盟団体規定に記載される。また、特定非営利活動法人日本混合バレーボール連盟が準加盟団体として理事会で認められる。登録及び登録料に関する規定の説明がある。

## 7. 閉会

議事録署名人 議長 山口隆義 (印)

議事録署名人 小川政博 (印)

議事録署名人 中川裕行 (印)